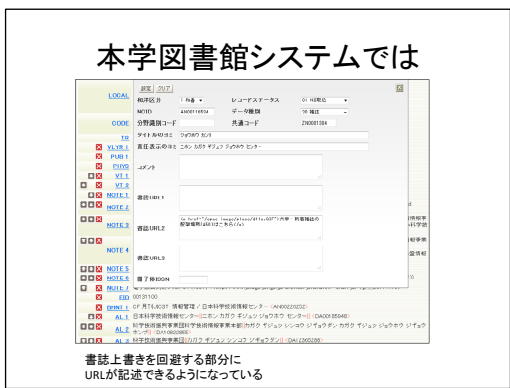
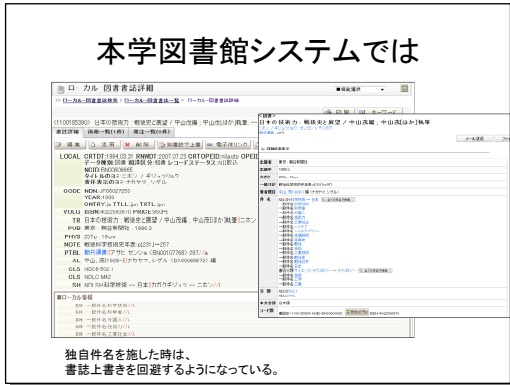


し、過度のカスタマイズには当然費用が発生します。となると、システムや標準仕様の範囲内での工夫が求められます。

本学図書館システムでは、書誌上書きを回避する仕組みを入れています。例えば、書誌上書きに左右されない、独自件名フィールドを作っています。また、書誌上書きを回避するために、URL も三つまで入力できるようになっています。



3.

先程、川嶋さんから「カーリル」と「Webcat Plus」のリンクアウト、という話がありました。が、大学図書館でも、「Webcat Plus」や「Google」、「国立国会図書館」へリンクアウトする仕組みを作っています。この辺りは、図書館システムのメーカーに相談するしかありませんが、このような記述で指示すれば、多分やってくれるのではないかと、このを紹介していきたいと思えます。

先ず、「Webcat Plus」のリンクアウトです。「NCID (NACSIS-CAT 書誌番号)」とは、国立

情報学研究所の書誌のユニーク番号になります。国立情報学研究所だと、大体 NCID を使ってリンクアウトさせます。NCID、ISBN、ISSN でリンクアウトする場合は、これをそのまま書いてメーカーに言えば、「多分できます」といってくださると思います。

① リンクアウト
書誌・所蔵画面から関連情報へ

- SE作業 (図書館側から青の部分を依頼する)
- 他機関所蔵 & 目次情報 WebcatPLUS

① NCID (NACSIS-CAT 書誌番号)
http://webcatplus-equal.nii.ac.jp/libportal/DocDetail?hdn_if_lang=ipn&txt_docid=NCID:BB09916373

② ISBN
<http://webcatplus.nii.ac.jp/index.html?type=equals-book&isbn=9784816923777>

③ ISSN
<http://webcatplus.nii.ac.jp/index.html?type=equals-book&isbn=00217298>

次に、「CiNii Books」。これも NCID、ISBN、ISSN で。「CiNii Books」は Open URL にも対応していますので、状況によってメーカーに相談してください。

① リンクアウト
書誌・所蔵画面から関連情報へ

- 他機関所蔵 CiNii Books

① NCID (NACSIS-CAT 書誌番号)
<http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09793700>

② ISBN
<http://ci.nii.ac.jp/books/search?advanced=true&type=0&isbn=4924702064>
<http://ci.nii.ac.jp/books/openurl/query?rft.isbn=4924702064> ← OpenURLに対応している時

③ ISSN
<http://ci.nii.ac.jp/books/search?advanced=true&type=0&issn=05404614>
<http://ci.nii.ac.jp/books/openurl/query?rft.isbn=05404614> ← OpenURLに対応している時

続いて、国立国会図書館の「NDL Search」、「カーリル」の目録や、世界中の図書館所蔵目録であ

① リンクアウト
書誌・所蔵画面から関連情報へ

- 他機関所蔵 ISBNにより他図書館

① 国立国会図書館NDL Search (雑誌も可)
http://iss.ndl.go.jp/books?search_mode=advanced&rft.isbn=4924702064

② カーリル
<http://calil.jp/book/4621051016>
<http://calil.jp/search?q=4924702064>

③ 世界中の図書館所蔵 WorldCAT
<http://www.worldcat.org/search?q=bn:4621051016>

る OCLC の「WorldCAT」にリンクアウトしたいと思った時は、このような指示をすれば、メーカーで善処して頂けると思います。

取引書店やネット書店へのリンクアウト。ネット書店を ISBN でリンクする場合、Amazon、紀伊國屋書店、ジュンク堂、丸善とあります。公共図書館は、日書連と地域の書店から買う場合もあるかもしれません。メーカーに相談しなくてはならないものもありますが、下記のような記述で大丈夫ではないかと思えます。

**① リンクアウト
書誌・所蔵画面から関連情報へ**

- 取引書店、ネット書店等 ISBNでのリンク
- ① アマゾン <http://www.amazon.co.jp/gp/product/4621051016>
- ② 紀伊國屋
和書: <http://bookweb.kinokuniya.co.jp/guest/cgi-bin/wshosea.cgi?W-ISBN=4621051016>
洋書: <http://bookweb.kinokuniya.co.jp/guest/cgi-bin/booksea.cgi?ISBN=1850756538>
- ③ ジュンク堂&丸善
<http://www.junkudo.co.jp/detail.jsp?ISBN=4062178834>
- ④ 日本書店商業組合連合会(日書連) メーカーにご相談を
<https://www.shoten.co.jp/include/Meisai.asp?4860693248./ni sho/search/index.asp.InputData.mdb>
- ⑤ TRC (honto) メーカーにご相談を
[http://honto.jp/netstore/search_10\[9784054055070\].html](http://honto.jp/netstore/search_10[9784054055070].html)

逆パターンとして、「CiNii Books」や「CiNii Articles」から所蔵検索をするには、設定が必要です。それぞれ設定を行う場所が違うので、注意してください。

4.

要検討のものとして、蔵書の一部の資料へのリンクアウトですが、約 1 万 5 千点の新書情報「新書マップ」というものがあります。URL に ISBN がありますが、リンクアウトできるか否かは、メーカーとの相談になると思います。

何故かという、「新書」をどこかで認識させないと、うまいことリンクアウトさせられないかもしれないからです。「新書マップ」側に、蔵書検索ができるような、何かしらの仕組みがあればいいのですが残念ながらありません。仕組みがあればサービスの幅が広がります。あれば、図書館の新書が並ぶコーナー付近に「新書マップ」を表

示させたパソコンを置き、「この新書、この図書館にあるかしら」と、ボタンをぽんと押せば、「新書マップ」の書誌から自館の所蔵が分かる仕組みが作れるはず、なのです。

続いて、「闘病記ライブラリー」。公共図書館では、医療情報の支援もあって、闘病記を集めている図書館も多くなっていると思います。「闘病記ライブラリー」は、ISBN でリンクアウトするのは不可、です。ISBN がどこにもなくて、登録番号順だと思えますが、こういう URL になっています。収録する書誌一覧も画像です。

どうしても「闘病記ライブラリー」をやろうとすると、クロールもできないようなので、700 冊位ある情報を自分で検索して、先ずはリストを作り、自館の MARC、IDENT や他のフィールドに、URL を足すしかないのかな、と。

「新書マップ」、「闘病記ライブラリー」は、外部との連携を拒否する何かがあるので例として挙げました。

5.

次に「電子ブックと電子ジャーナル」を、お話ししていきたいと思えます。ここに書誌があって、所蔵に相当するものがある、このボタンを押すと、電子ジャーナルへ飛ぶ仕組みになっています。リンクアウトの発展系、だと思ってください。

OPACから電子ブック／ジャーナルへ

リンクアウトの発展系

URL	電子ブック	巻号	年次/刊行日	ISSN	請求記号	状態	コメント
電子ブック 電子ブック	電子ブック	1561-2028		1561-2028	1561-2028	電子ブック	J-STAGE (科学技術情報発信・流通総合システム) 日本語版(無料提供)

今知っている限りでは、N社とF社の2社は、リンクアウトする仕組みを持っています。N社の

文庫」を開いたときの並びになります。N 社の図書館システムは、「和洋区分」と「タイトル」が、必須項目になっています。URL は必須ではありませんが、入力しないと、リンクボタンが出ないので電子ブックにリンクアウトできません。この中から必要な項目を選んで、入力することになると思います。

仕様に従い取捨選択し項目を並べる

1] 資料番号	人物 ID
2] 書誌 ID	著者名
3] 書誌ユニーク ID	作品 ID
4] ISBN	作品名
5] 冊子体の SEN	匿名漢字種別
6] 和洋区分	翻訳者名等
7] タイトル	人力者名
8] タイトルのヨミ	校正者名
9] 著者	状態
10] 著者のヨミ	状態の開始日
11] 刊行年	ISBN
12] YEAR1	原書名
13] YEAR2	出版年
14] CTRY	出版社名
15] TEXT	人力を使用した版
16] 印刷部数	
17] 刷の発行年	
18] 刷部数	
19] 刷年次等	
20] 刷部数1	
21] 刷部数2	
22] ロールブックコメント1	
23] ロールブックコメント2	
24] ロールブックコメント3	
25] 冊子体 ISSN	
26] OPACコメント	
27] URL	
28] 図書カード	
29] 個人番号	

必須

URLは必須ではないが、セットしないとリンクボタンは出ない

青空文庫の順番

← 図書館システムの仕様(順番)

URL を作ります。「人物 ID」と「作品 ID」がありますので、Excel の CONCATENATE 関数を使い、合成するなどして、作るのが良いのではないかと思います。なお、この URL は関数でできた式なので、値をコピーして隣の列に文字列として貼り付ける必要があります。

リスト加工上の注意点として、翻訳者も「人物 ID」が付与されていますが、作品は書いていないので、「図書カード」はありません。そのため、リンク先なしが起こるので気を付けてください。また、外国人著者の場合、翻訳者を確認し、著者名フィールドから消しておくのが無難です。翻訳者も入れておくと、リンク切れが発生します。以上が「青空文庫」で作る場合です。

7.

日本ペンクラブの「電子文藝館」のデータを作るには、どうするか。
「電子文藝館」は、846 作品で、著作権が失効した作品も収集、掲載しています。規則性はありませんが、著者と題名、索引は用意されているので、

何とか作ることができます。

「電子文藝館」の場合は、ページのソースを使って、著者、URL、作品の表を作成する方法が、一番簡単だと思います。関数を使って表を加工するのはかなり面倒なので、簡単に統合したり分離したりというツールもあります。

電子文藝館

- 846作品
- 著作権が失効した作品も収集掲載
- 個々の作品のURL
<http://www.japanpen.or.jp/e-bungeikan/nonfc/WatanabeKiyosi.html>
- 規則性はない
- 著者と題名 索引あり

【執筆体制の発刊】抄

PEN 会員広場
PEN 著者の旗
PEN 展覧案内
PEN 索引

8.

電子ジャーナルのデータの作り方です。N 社の図書館システムの仕様は、28 項目の内 5 項目が必須で、URL は必須ではないが、ないとリンクボタンができません。「25.冊子体 ISSN にセットすると、冊子体書誌と相互リンクする」とは、電子ジャーナルから冊子体目録、冊子体目録から電子ジャーナルの書誌に行き来ができる仕組みです。

データの作り方② 電子ジャーナル

図書館システムの仕様

- 28項目のうち5項目が必須
- URLは必須ではないが、ないとリンクボタンが出ない
- 25. 冊子体ISSNにセットすると、冊子体書誌と相互リンクする

主な電子ジャーナル(無料含む)
リストが提供されるもの

- ① CiNii (NII-ELS) 紀要4,585誌
- ② J-STAGE 学会誌1,700誌
- ③ メディカルオンライン936誌
- ④ ISSN日本センター 1,481誌

1] 資料番号
2] 書誌 ID
3] NCID
4] 書誌ユニーク ID
5] ISBN
6] 和洋区分
7] タイトル
8] タイトルのヨミ
9] 著者
10] YEAR1
11] YEAR2
12] CTRY
13] TEXT
14] 印刷部数
15] 刷の発行年
16] 刷部数
17] 刷部数1
18] 刷部数2
19] ロールブックコメント1
20] ロールブックコメント2
21] ロールブックコメント3
22] OPACコメント
23] URL
24] 冊子体の ISSN
25] 冊子体の書誌 ID
26] 図書カード
27] 個人番号

主な電子ジャーナルは、「CiNii (NII-ELS)」、「J-STAGE」、「メディカルオンライン」、「ISSN 日本センター (NDL)」があります。

9.

「CiNii (NII-ELS)」の場合は、「CiNii Articles 収録刊行物タイトルリストダウンロード」を押すと、ダウンロードの画面が出ますので、デスクトップ上にダウンロードして展開する。続いて、メモ帳で開いたリストを、直接スプレッドシートにコピー アンド ペーストすると、「0 落ち」せずにはっきりセルに入ります。

続いて、13 項目ある「CiNii (NII-ELS)」の提供リストを仕様に従い取捨選択し、図書館システムに入れていくことになるのでしょうか。

「CiNii (NII-ELS)」最大の問題点は、オープンアクセスだとしても、電子化されていない巻号が含まれる場合もあることです。注意してください。

「J-STAGE」、「メディカルオンライン」、「日本 ISSN センター」は省略させていただきます。

10.

和文収録刊行物タイトルリストの問題として、「CiNii (NII-ELS)」は、ヨミまで入っていますが、「J-STAGE」や「メディカルオンライン」、「MedicalFinder」は入っていないので、ヨミで検索できず非常に困る、ということが起こります。

サービス名	提供元	リスト提供	誌数	ヨミ	提供期間	提供巻号	備考
CiNii (NII-ELS)	NII	○	4,585	○	○	○	非電子含む
J-STAGE	JST	○	1,679	×	○	×	
Medical Online	メテオ	○	936	×	○	×	
MedicalFinder	医学書院	×	32				
ISSN登録国内刊行オンラインジャーナルリスト	日本ISSNセンター (NDL)	○	1,481	○	○	○	登録申請された雑誌のみ。加工し難い
デジタル雑誌	Fujisan.co.jp	×	1,644				

問題点: ヨミ、提供巻号がないのが多い
 欧文電子ジャーナルは、電子ジャーナルAtoZリストから得る

なお、図書館システムへの登録は、Excel 等は Shift-JIS しか対応していないので、UTF-8 が登録可能なテキストエディタを使って頂きたい。

11.

今回、大学図書館では、利用者コメントを入れる仕組みを作りました。

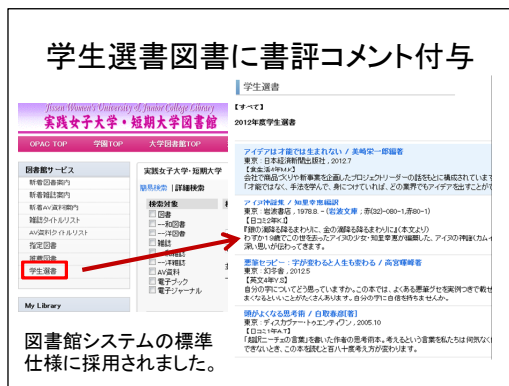
これは、昔の本学大学図書館のシステムですが、2007 年頃 OPAC に「教員指定・推薦図書一覧」というのを作りました。先生の名前を押すと、先生が指定している図書が一覧されます。2010 年から図書館で始めた学生選書ツアーは、POP を付与して展示をする仕組みにしています。



12.

2012 年のシステム更新のプラス アルファで、Amazon のリストマニア的機能を付与したい、と考えました。タイトルの下に、一行コメントを入れる、という仕組み。このようなのが作れないかと、メーカーにお願いしました。

今回、学生選書図書に 200 文字まで書評コメントが入る仕組みを作りました。本学 OPAC の「学生選書」という所です。この仕組みは、N 社の図書館システムの標準仕様に採用されたようです。



次年度からは指定・推薦図書にも、先生に本を推薦した理由など、コメントを書いて頂くようになると思います。狙っているのは、主題別情報源（簡易パスファインダ）や、入門書、ブックガイド、ランキング掲載図書の利用です。

適用が考えられる例では、聖徳大学図書館に「図書館オススメ本」というのがありますが、コメントはありません。クリックすると、OPAC と連携し書誌が単純に表示されますが、本学で入れたような仕組みを使ってコメントが入ると、おもしろい物ができるのではないのでしょうか。

適用寸前の例は、千葉大学附属図書館。パスファインダを出しています。N 社のシステムを使っているものの、コメントは入れていません。多分まだご存じないのかと思いますが、この仕組みを使えば、ホームページでコメントを作ることはないのにな、と思います。

13.

DIY の欠点としては、標準仕様の理解が不可欠である、こと。担当者が変更した場合、うまく引き継げない、こと。

電子ブック、電子ジャーナルのリストの作成方法をご説明しましたが、一括登録、削除は面倒なので、根気がないと続きません。一括登録、一括削除していたとしても、電子ジャーナルは定期的なメンテナンスが必要ですので、作業は思った以上に大変です。そのため、ディスカバリーサービスに乗り換えられる図書館も、多分多いと思います。

「さあ、どうする？」ということで、予告です。3 日目に第 1 会場で「日本のナレッジベース構築に向けて—電子リソース管理とデータベース (ERDB) プロジェクトの現状と将来展望について」のパネリストを務めます。回答になるか分かりませんが、聞いて頂きたいと思います。

以上

(フォーラム開催日 2012 年 11 月 20 日)